

令和5年9月20日
島根県教育庁文化財課世界遺産室
【担当】倉恒康一、岩橋孝典
【TEL】0854-89-0183 (石見銀山世界遺産センター)
【FAX】0854-89-0089 ()
【メール】sekaiisan@pref.shimane.lg.jp

企画展「大久保長安と石見銀山-徳川家康を支えた天下の総代官-」を開催します！

石見銀山世界遺産センターにおいて、下記のとおり企画展を開催しますので、ご案内します。

記

1 展示の概要

今年（令和5年）は、江戸時代の初めに石見銀山での鉱山開発を成功に導いた石見銀山奉行大久保長安の没後410年に当たります。これを記念して開催する本企画展では、島根県・大田市による石見銀山の調査研究成果をもとに、大久保長安が石見銀山の開発に成功した背景を探るとともに、最近発見された大久保長安にまつわる女性に関する史料も取り上げ、その実像に迫ります。

2 名 称 大久保長安と石見銀山 - 徳川家康を支えた天下の総代官 -

3 会 期 令和5年9月27日（水）～11月27日（月）
※ 会期中の休館日：10月31日（火）

4 場 所 石見銀山世界遺産センター 第3展示室（大田市大森町イ1597-3）

5 観覧時間 午前9時～午後5時30分（最終受付は午後5時）
※ 石見銀山世界遺産センター営業時間：午前8時30分～午後6時

6 主な展示資料

- ・大久保長安書状（17世紀初め）：大久保長安がその側室と思われる女性「おはな」に宛てた新発見の書状。
- ・ガラス製かんざし（16世紀末～17世紀前半）：石見銀山遺跡の出土品で、大久保長安が活躍した時代の石見銀山の住民が使用していたもの。
- ・慶長豆板銀（慶長6（1606）年～元禄8（1695）年）：石見銀山など諸国の銀山で産出された銀を使って江戸幕府が最初に製造した銀貨の一つ。
※ 資料保護のため一部資料は会期中に展示替えをします。
※ 詳しくは別紙を参照してください。

7 観覧料 一般310円、小中学生150円（常設展示もご覧になります）

8 主 催 島根県教育委員会・大田市教育委員会

9 関連企画

- ・石見銀山世界遺産センターの開館記念日である10月20日（金）に専門職員による展示解説を行います（同日は観覧無料）。

「大久保長安と石見銀山—徳川家康を支えた天下の総代官—」 主な展示資料の概要

①大久保長安書状 (17世紀初め・橋本家文書) 【新発見】



おはな まいる	慶長七年九月日 長安 (花押)	大久保十兵衛	以上 山之神いちめんの 儀、吉岡隼人・岡田宗喜 扱 ^{二而} 、銀子弐枚 買取候由、尤ニ候、毛利殿 証文并銀山之 代官証文披見候、 たじまいち代ニして 所務可仕候、若於 有違乱者、可申上候者也、 仍如件、
------------	-----------------------	--------	---

《解説》

佐鳴壳山神社の巫女の権益を銀2枚で「おはな」が購入したことについて、不平を言うものがいれば大久保長安に訴えるよう記した書状。「おはな」は他の史料で長安に同行して伊豆の金銀山に行っていたことが確認できるので、長安の側室の一人と思われる。

②ガラス製かんざし (16世紀末~17世紀前半)



《解説》

石見銀山遺跡の於紅ヶ谷地区で出土した純度の高いカリウム鉛ガラス製のかんざし。大久保長安や「おはな」が活動した時代のもの。

③慶長豆板銀 (慶長6年 (1606) ~元禄8年 (1695))



《解説》

石見銀山など諸国の銀山で産出された銀を使って江戸幕府が最初に製造した銀貨の一つ。サイズは約1.5センチメートルときわめて小さい。品位は銀80%、銅20%。品質を保障する意味で極印^{ごくいん}が打たれている(本資料では不鮮明だが、「宝」の文字や大黒様の絵柄などが入った極印が用いられた)。